

洋書輸入協会会報

VOL. 20
NO. 3

(通巻227号) 昭和61年 3 月

理事会報告

1 月27日(月)

(一) 英国出版社代表团

代表团との懇談会は2月13日(木)2時から岩波ビル9階会議室でひらかれることとなった。なおJBIA側出席者の名簿を作成することとなった。

(二) 調査開発委員会

1月29日(木)に開催する同委員会の司会、進行等について打合せた。

(三) 文化厚生委員会

1月9日の新年懇親会の会計について報告があり、了承された。

(四) その他。

2月10日(月)

(一) 12月分および1月分収支計算・予算対比表

事務局長の報告を承認した。

(二) 英国出版社代表团

British Councilからの連絡により、Alexander Macmillan氏は不参となり、団長はFrances Pinter女史であること、ならびに2月13日(木)の懇談会の際の希望討議テーマが報告された。希望討議テーマは次のとおりである。1、洋書輸入の状況 2、洋書需要の動向 3、コンピューターの発達と印刷物の将来 4、

海賊版輸入の有無とそれへの対策 5、コピー問題への対策。

(三) 第52回 IFLA 大会

第52回 IFLA (国際図書館会連盟) 東京大会 (8月25日～8月29日) について意見を交換した。

(四) 調査開発委員会

次回を3月7日(金)に開催することとした。

(五) その他。

英国出版社代表团との懇談会

2月13日(木)午後2時から4時まで、岩波ビル会議室において、英国出版社代表团と理事会との懇談会がひらかれた。JBIA側からは理事および佐々木氏(第一出版貿易)が出席、英国側からは別記団員のほか、British CouncilのBrendan Griggs氏と西田俊子女史が出席した。

会は、小林理事長代理(丸善)の歓迎の挨拶ではじまり、代表团リーダーのDr. Frances Pinterの挨拶ののち、主として英国側の質問に答える形で進められた。そのなかで、海賊版の被害については、海外版、国内版ともに問題となっていないこと、コピー問題は、「著作権の集中的処理機構」の制度化が進められていること、また情報の

理事会報告..... 1	外国出版社紹介 No.116 3	来日外人名簿..... 9
英国出版社代表团との懇談会..... 1	新入会員のおしらせ..... 3	おしらせ..... 9
海外ニュース..... 2	昭和60年1—12月洋書輸入	計 報..... 9
書籍展示会のおしらせ..... 2	通関統計とその分析..... 4	広 告..... 10

コンピューター化の進むなかでも、印刷物に対する需要は続くとの見解がJBIA側から説明された。ついで我が国文教予算の現況と、増額のためのJBIAの活動を説明、また英国で実用化が進められているTele-Ordering Systemの利用について意見が交換された。ついで英国出版社の我が国輸入業者に対する情報提供、受注、発送などのサービスについて応答がなされ、概ね良好であることが認識された。

英国出版社代表団員名簿

Dr. Frances Pinter (Leader)

Frances Pinter

Tom Davy

Kogan Page

Norman Drake

Basil Blackwell

Aidan Reynolds

Holt-Saunders

Damien Tunnacliffe

Longman Group

Mike McKinley

Butterworth

David Foster (Secretary)

Book Development Council

海外ニュース

『グリーンウッド・プレス社が プレーガー社をCBSから買収』

グリーンウッド・プレス(コネチカット州)とCBSは、本年1月1日を以って、グリーンウッドがプレーガーを買収することで最終合意に達した。合意の内容は明らかにされていないが、業界の推定では買収価格は300万ドルといわれている。

グリーンウッド・プレスは、オランダのエルゼビア系列にあるコングレッショナル・インフォメーション・サービス社の子会社である。

CBSは1976年にプレーガーを取得したが、CBSがすすめている短期債務の削減計画により、今回のプレー

ガー売却となった。CBSは、先月もホルト・ラインハート & ウINSTONのトレード部門を西独シュトゥットガルトのホルツブリンク・グループに売却しているほか、宗教出版社のウINSTON・ジーバリー社も売りに出している。

グリーンウッドのR.ヘーゲルスタイン社長によれば、プレーガーの取得により同社は人文・社会科学における学術・専門・レファレンス書の指導的な出版社のひとつに成長できるとしており、両社を合わせた年商は1,000万ドルを優に越えるという。プレーガー社の昨年の年商は480万ドルであった。

(Publishers Weekly 1986, 1月3日号から)

—(株)紀伊國屋書店提供—

書籍展示会のお知らせ

英国書籍商協会大会・展示会

・1986年4月23日—27日

Booksellers Association Conference and Trade Exhibition. Aviemore, Scotland.

スウェーデン書籍展示会

1986年5月23日—25日

Swedish Book Fair.

Stockholm.

第2回国際フェミニスト書籍展示会

1986年6月21日—27日

Second International Feminist Book Fair.

Oslo.

マドリード国際書籍展示会

1986年9月24日—28日

Madrid Salon Internacional del Libro.

モントリオール書籍展示会

1986年11月20日—25日

Montreal Salon du Livre.

第18回ブダペスト国際科学技術書展

1986年5月21日—29日

18th International Exhibition of Scientific and Technical Books, Budapest.

Boydell & Brewer Ltd.

PO Box 9 · Woodbridge · Suffolk · IP12 3DF · U. K.

Boydell & Brewer 社は1974年の会社創立以来、主として中世英文学・中世史の分野でアカデミックな学術書の出版に従事している英国有数の出版社です。

同社には二人の代表者がおり、Richard Barber は、アーサー王伝説や中世騎士道物語の研究家として名高く Derek Brewer (ケンブリッジ大学中世英文学教授、及びエマニュエル・コレッジ学寮長) は英国の代表的なチョーサー学者であり、教授と評論家の双方で輝かしい名声を得ています。Brewer は1956年から二年間、東京の ICU で教鞭をとったこともあり、その後も講演会等でたびたび来日しているのでご存知の方も少なくないと思います。

同社の出版物の中にも「Arthurian Literature」、「Arthurian Legends」、「Figure of Arthur」、「Edward the Black Prince」(以上 Barber)、「Symbolic Stories」、「Return of King Arthur」(以上 Brewer) など自著が多く、他の出版社からも多くの著作が出版されています。

同社の歴史は、1970年代の初め、印刷コスト上昇に伴う操業短縮と特殊分野ゆえの難しさにより、数多くの貴重な評論研究書が出版を敬遠されている事実を知った二人がロンドンを離れ、彼らが独自の出版姿勢を追求したところが出発点となっています。中世という時代の情勢を解明し、未研究分野の開拓の一端となる書籍を出版しようという試みです。本来、学者であ

る Brewer が趣味として「出版業」をあげていることから、彼らの出版にかける熱意は並々ならぬものだったと察せられます。彼らのポリシーを大学の出版局のそれと比較すると、多くの点で共通するものはありますが、大手出版社には得がたい小出版社ゆえの柔軟性に富んでいることが同社の特色ともいえましょう。

同社はいずれも中世の英語・英文学・西欧史の出版に力を注いでいます。「アーサー王」と「チョーサー」研究書の二大シリーズは英文目録の礎であり、目録にはさらに写本研究書や書誌学、重要な写本のファクシミリ、中世言語・文学を多面的に研究した評論研究書、発展途上部門の初期演劇なども含まれています。特に最近の中世文学研究の動向とマッチした古写本研究書の出版の充実ぶりは特筆に値します。

歴史分野の特色は政治・経済の他に文学・美術・考古学の分野からの研究を幅広く取り入れ、10世紀から中世後期の英国史を充実し、完成されたものにしていくことでしょう。とりわけ騎士制度研究には重点が置かれています。

以上が、Boydell & Brewer 社の歴史の概略ですが、わずか10余年で著しい発展を遂げ、中世英文学・中世史の分野で重要な出版社に成長したことは注目すべきことであり、今後ともますます期待される出版社の一つです。

新入会員のお知らせ

このたび下記のかたがたが入会されましたのでお知らせします。

正会員

株式会社 三菱総合研究所

〒100 東京都千代田区大手町 2-3-6

☎(03)270-9211

正会員

ニューベリ ハウス バブリッシャーズ

インターナショナル インコーポレイテッド

〒160 東京都新宿区高田馬場 1-21-10

豊電ビル 308

☎(03)232-1191

昭和60年 1～12月洋書輸入通関統計とその分析

相 良 廣 明

大蔵省関税局から、昭和60年（1985）1～12月の日本貿易統計の輸入品別・国別表が発表されたので、洋書関係の数字をピックアップして分析を試みたい。

（表2）昭和51（'76）～60（'85）年書籍・雑誌輸入通関統計推移表（価額）

（単位 百万円）

1. 書籍・雑誌の通関価格及び数量

（表1）昭和60年（1985）1～12月書籍・雑誌輸入通関統計表（価額及び数量）

商品名	s59(1984)1～12月		s60(1985)1～12月			
	数量	価額	数量	前年比	価額	前年比
	千冊	百万円	千冊	%	百万円	%
書 籍	14,578	20,874	15,964	110	21,897	105
雑 誌	7,739	10,707	8,636	112	10,734	100
合 計	22,317	31,581	24,600	110	32,631	103

年 次	書 籍			雑 誌			計		
	額	前年比	指数	額	前年比	指数	額	前年比	指数
s51('76)	20,035	116	116	6,151	63	63	26,186	97	97
52('77)	23,470	117	136	8,260	134	84	31,730	121	117
53('78)	23,023	98	134	8,650	105	88	31,673	100	116
54('79)	21,982	95	128	9,333	108	95	31,315	99	116
55('80)	23,018	105	134	11,049	118	113	34,067	109	126
56('81)	19,071	83	111	8,899	81	91	27,970	82	103
57('82)	21,285	112	124	11,052	124	113	32,337	116	120
58('83)	20,028	94	116	10,921	99	111	30,949	96	114
59('84)	20,874	104	121	10,707	98	109	31,581	102	117
60('85)	21,897	105	127	10,734	100	109	32,631	103	121

〔注1〕書籍は仮とじのもの、パンフレット及びリーフレットを含むが、マイクロフィルム類、新聞、絵本、楽譜、カレンダー、絵葉書などは含まない。

〔注2〕価格はCIF又はC&Fである。（以下同じ）

〔注3〕昭和57年6月までは、小額貨物は10万円以下含まれずとなっていたが、7月より20万円以下含まれずに変更されている。

〔注4〕書籍は、現品入荷月の翌月の15日までに届出が行われるため、入荷より平均1ヵ月の遅れで計上されている。

〔注5〕雑誌は、最終号が到着したと認められる時点において届出が行われるため、初号入荷時よりも約一年遅れで計上されている。

〔注1〕指数は、昭和50（'75）年を100として算出した。

〔注2〕雑誌の通関手続きが、（表1）の〔注5〕のように変更されたのは、昭和51年のことである。そのためその前年の昭和50年の雑誌輸入額は44%アップと急増し、昭和51年は37%ダウンと激減、52年は34%アップで通常のペースに戻っている。従ってきりの良い昭和50（'75）年の指数を100として、その後の指数を算出すると、雑誌及び合計の指数の伸びが実態よりもやや下廻るようになる。序でながら、昭和49（'74）年を指数100として計算すると、昭和60（'85）年は書籍130、雑誌157、合計で138という指数となる。

(表3) 昭和58年('83)~60('85)年の上・下期毎書籍・雑誌の輸入通関統計比較表(価額)

(単位 百万円)

期 間	書籍	前年同 期 比	雑誌	前年同 期 比	計	前年同 期 比
s58.1-6月	10,324	%	8,150	%	18,474	%
('83)7-12月	9,704	94	2,771	98	12,475	96
計	20,028	94	10,921	99	30,949	95
s59.1-6月	11,241	109	7,485	92	18,726	101
('84)7-12月	9,633	99	3,222	116	12,855	103
計	20,874	104	10,707	98	31,581	102
s60.1-6月	11,475	102	7,732	103	19,207	103
('85)7-12月	10,422	108	3,002	93	13,424	104
計	21,897	105	10,734	100	32,631	103

(表4) 昭和56('81)~60('85)年書籍・雑誌輸入通関統計推移表(数量)

(単位 千冊)

年次	書 籍		書 籍		計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
s56('81)	17,067	%	7,095	%	24,162	%
57('82)	14,734	86	7,160	87	21,894	96
58('83)	13,794	94	7,734	101	21,528	91
59('84)	14,578	106	7,739	108	22,317	98
60('85)	15,964	110	8,636	100	24,600	104
				112		110

[注] この数量には、文庫本から古本、バックナンバーなどまでを含むため、実用上の使用には適しない。

(表5) 昭和56('81)~60('85)年書籍・雑誌単価推移表

商品名	s56 ('81)	s57 ('82)	s58 ('83)	s59 ('84)	s60 ('85)	前年比
書 籍	円	円	円	円	円	%
雑 誌	1,117	1,445	1,452	1,432	1,372	96
	1,254	1,544	1,412	1,384	1,243	90
計	1,158	1,477	1,438	1,415	1,326	94

[注] (表4)の場合と同じく、この単価は実用上の使用には適しない。

[分析]

昭和60年('85)年の主要6カ国の為替相場は、年内にこそ大きく変動しているが、年の平均を取ってみると、珍らしく前年比で変動幅の少ない年であった。例えばUS\$では、月平均の最円安が3月の259円65銭で、最円高が12月の203円83銭と振幅が激しかったが、年平均では前年比で横這いである。主要6カ国(全輸入額の88.7%を占める)の加重平均を取ってみても、1%程度しか円高になっていない。

従って、昭和60('85)年の書籍・雑誌輸入合計額の前年比103%は、1%程度しか円高に影響されていないので、これを修正しても4%アップの範囲にとどまる。

なお、この20年間に、書籍・雑誌の輸入額はどれだけ増加したのかを見てみたいと思って、昭和40('65)年を調査した所、次の結果が出た。

(表6) 昭和40('65)~50('75)~60('85)年の書籍・雑誌輸入価額成長率一覧

(単位 百万円)

商品名	s40 ('65)	s50 ('75)	成長率	s60 ('85)	s40 ('65) 比	s50 ('75) 比
			%		%	%
書 籍	5,342	17,234	323	21,897	410	127
雑 誌	470	9,805	2,086	10,734	2,284	109
計	5,812	27,039	465	32,631	561	121

この表で分るように、書籍・雑誌の輸入価額は、最近20年間のうち昭和40('65)~50('75)の間に大部分の成長をして、以降の10年間は微成長しかしていないことが良く見て取れる。

2. 主要国別通関実績

(表7) 昭和60('85)1~12月主要国別書籍・雑誌別輸入通関統計表(価額)

(単位 百万円)

国名	書 籍			雑 誌			計		
	価額	前年比	構成比	価額	前年比	構成比	価額	前年比	構成比
米	9,806	96	45	5,695	104	53	15,501	98	48
英	4,577	115	21	1,190	90	11	5,767	109	18
西独	2,929	115	13	847	102	8	3,776	112	12
仏	628	93	3	428	102	4	1,056	97	3
スイス	467	114	2	304	93	3	771	105	2
蘭	953	105	4	1,098	79	10	2,051	89	6
伊	205	57	1	501	94	5	706	79	2
ソ連	192	211	1	158	2257	1	350	357	1
香港	549	140	3	114	123	1	663	137	2
その他	1,591	125	7	399	133	4	1,990	126	6
計	21,897	105	100	10,734	100	100	32,631	103	100

〔注〕今回より主要国の中に香港を加えた。

(表8) 米国昭和56(’81)～60(’85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

年次	書籍	前年比	構成比	雑誌	前年比	構成比	計	前年比	構成比
s56(’81)	8,691	94	46	4,445	86	50	13,136	91	47
57(’82)	10,010	115	47	5,420	122	49	15,430	117	48
58(’83)	9,224	92	46	5,378	99	49	14,602	95	47
59(’84)	10,255	111	49	5,488	102	51	15,743	108	50
60(’85)	9,806	96	45	5,695	104	53	15,501	98	48

(表9) 英国昭和56(’81)～60(’85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

年次	書籍	前年比	構成比	雑誌	前年比	構成比	計	前年比	構成比
s56(’81)	4,125	81	22	1,446	99	16	5,571	85	20
57(’82)	4,144	100	19	1,770	122	16	5,914	106	18
58(’83)	3,590	87	18	1,235	70	11	4,825	82	16
59(’84)	3,976	111	19	1,316	107	12	5,292	110	17
60(’85)	4,577	115	21	1,190	90	11	5,767	109	18

(表10) 西独昭和56(’81)～60(’85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

年次	書籍	前年比	構成比	雑誌	前年比	構成比	計	前年比	構成比
s56(’81)	2,550	73	13	1,024	84	12	3,574	75	13
57(’82)	3,068	120	14	928	91	9	3,996	112	12
58(’83)	2,916	95	15	935	101	9	3,851	96	12
59(’84)	2,542	87	12	832	89	8	3,374	88	11
60(’85)	2,929	115	13	847	102	8	3,776	112	12

(表11) フランス昭和56(’81)～60(’85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

年次	書籍	前年比	構成比	雑誌	前年比	構成比	計	前年比	構成比
s56(’81)	629	46	3	374	62	4	1,003	51	4
57(’82)	605	96	3	455	122	4	1,060	106	3
58(’83)	589	97	3	446	98	4	1,035	98	3
59(’84)	673	114	3	418	94	4	1,091	105	3
60(’85)	628	93	3	428	102	4	1,056	97	3

(表12) スイス昭和56(’81)～60(’85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

年次	書籍	前年比	構成比	雑誌	前年比	構成比	計	前年比	構成比
s56(’81)	660	85	3	239	64	3	899	78	3
57(’82)	594	90	3	357	149	3	951	106	3
58(’83)	515	87	2	564	158	5	1,079	113	4
59(’84)	408	79	2	328	58	3	736	68	2
60(’85)	467	114	2	304	93	3	771	105	2

(表13) オランダ昭和56(’81)～60(’85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

年次	書籍	前年比	構成比	雑誌	前年比	構成比	計	前年比	構成比
s56('81)	672	%	%	769	%	%	1,441	%	%
57('82)	970	144	5	1,254	163	11	2,224	154	7
58('83)	935	96	5	1,330	106	12	2,265	102	7
59('84)	907	97	4	1,392	105	13	2,299	102	7
60('85)	953	105	4	1,098	79	10	2,051	89	6

〔分析〕

主要国の中では、ソ連の復活が第一に注目すべきことである。ソ連は昭和50('75)年には、書籍98百万円、雑誌47百万円、計145百万円を計上しているが、昭和55('80)年には雑誌が0になるなど、考えられないような低迷が続いていた。それが今回は合計で350百万円となり。輸入額では世界第10位に復活した。

(表14) 昭和60('85)年書籍・雑誌合計輸入価額ベストテン

順位	国名	順位	国名
1位	米	6位	スイス
2	英	7	伊
3	西独	8	香港
4	蘭	9	台湾
5	仏	10	ソ連

3. 主要国以外の状況

(表15) 主要国以外で、昭和60('85)年1～12月に、書籍又は雑誌で1,000万円以上輸入されている国の一覧表 (価額)

(単位 百万円)

国名	書籍	雑誌	計	前年比
				%
韓国	126	42	168	150
N. KOREA	201	19	220	222
中国	131	74	205	167
台湾	363		363	269
シンガポール	146	30	176	106

インド	26	1	27	84
ノールウェイ	12	1	13	260
スウェーデン	10	5	15	136
デンマーク	38	41	79	113
アイルランド	2	65	67	319
ベルギー	74	1	75	221
東ドイツ	31	13	44	83
ポルトガル	34		34	3729
スペイン	166	1	167	506
オーストリア	39	38	77	118
カナダ	49	11	60	150
コロンビア	37		37	106
アルゼンチン	12		12	663
オーストラリア	20	30	50	161

(表16) 近隣6カ国からの昭和56('81)～60('85)年の間の書籍・雑誌合計輸入通関統計推移表 (価額)

(単位 百万円)

国名	s56('81)	前年比	s57('82)	前年比	s58('83)	前年比	s59('84)	前年比	s60('85)	前年比	構成比
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
韓国	268	120	251	94	473	188	112	24	168	150	0.5
N. KOREA			75		147	196	146	99	220	151	0.7
中国	248	122	291	117	251	86	308	123	205	67	0.6
台湾	220	59	224	102	251	112	340	135	363	107	1.1
香港	405	98	480	119	502	105	484	96	663	137	2.0
シンガポール	97	114	117	121	99	85	166	168	176	106	0.5
計	1,238	95	1,438	116	1,723	120	1,556	90	1,795	115	5.5

〔分析〕

(1) 大蔵省関税局発表の貿易統計には、1国からの輸入が年間20万円以上のものが掲載されている。書籍・雑誌について調べてみると掲載国の数は次のような推移となっている。

(表17) 最近3年間書籍雑誌輸入先国数推移表

	s58('83)	s59('84)	s60('85)
書籍	52カ国	50	56
雑誌	36	36	38
計	88	86	94

即ち、書籍・雑誌については、輸入先が多様化しているのが、昭和60年の特徴である。

(2) 同様に、書籍・雑誌のいずれかが1,000万円を越えている主要国以外の国を一覧表とした(表15)を見ても、多様化が進んでいることが分る。前年比でブラジルが抜け、ノールウェイ、スウェーデン、ポルトガル、アルゼンチンが増加している。

(3) 近隣6ヵ国からの輸入推移表(表16)を見ても、6ヵ国合計で前年比15%増、構成比も4.9%から5.5%へと、0.6%増加して、日本が近隣諸国との交流を深めているさまが見てとれる。殊に香港は、日本の輸入先の中で、主要6ヵ国及びイタリーに次ぐ第8位の地位を占めるに至っている。

4. 洋書関連商品の輸入通関統計

(表18) 書籍・雑誌に準ずる商品の昭和56('81)~60('85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

品 名	s56 ('81)	s57 ('82)	s58 ('83)	s59 ('84)	s60 ('85)	前年 比	56:60 ('81: '85)
絵 本	206	385	537	403	419	104	203
新 聞	234	207	209	299	353	118	151
楽 譜	649	738	832	670	638	95	98
地図・海図	709	822	713	808	898	111	127
印刷書画	465	696	616	642	1016	158	218
その他の物 印刷物	4,489	5,637	4,410	5,434	5,594	103	125
計	6,752	8,485	7,317	8,256	8,918	108	132

(表19) その他の関連商品の昭和56('81)~60('85)年輸入通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

品 名	s56 ('81)	s57 ('82)	s58 ('83)	s59 ('84)	s60 ('85)	前年 比	56:60 ('81: '85)
地 球 儀	402	328	204	152	177	116	44
絵葉書等	204	248	408	315	235	75	115
カレンダー	533	653	557	617	597	97	112
写 真	465	459	291	255	328	129	71
写真用 フィルム等	674	904	722	1,003	988	99	147
計	2,278	2,592	2,182	2,342	2,325	99	102

[注1] ○絵本は、幼児用の絵本及び習画本。

○楽譜は、手書きのもの、絵入りのもの及び製本したものを含む。

○地図・海図は、その他これらに類する地理学用・気象学用又は天文学用の図を含み、印刷したものである。

○その他の印刷物には、広告用印刷物(ポスターを含む)、広告・宣伝を目的とする物、各種の貿易用カタログ(書類楽譜の出版者のリスト、芸術作品のカタログを含む)、観光案内、印刷されたカレンダーバック、紙又は板紙以外の材料に印刷されたカレンダー等々が含まれている。

[注2] ○地球儀は、天球儀を含み、印刷したものである。

○絵葉書は、クリスマスカードその他の絵入りカードを含み、印刷したものである。

○カレンダーは、紙製又は板紙製のもの。

○写真用フィルム(Code No. 37.05-000)は、写真用のプレート及びフィルム(現像したもの)であり、マイクロフィルム・マイクロフィッシュ・スライド等は、これに含まれる。

[分析]

楽譜の漸減傾向は、音楽隆盛の世相から考えると不思議であるが、これは明らかにコピーの被害であろう。印刷書画の急上昇はこの一年限りのことか? 地球儀、絵葉書、カレンダー、写真等は軒並みに不振で、昭和56('81)年に比較しても微増か激減かである。僅かにマイクロフィルム、フィッシュ、スライドなどを含む「写真用フィルム等」が上昇傾向にある。

5. 輸出(参考)

(表20) 昭和51('76)~60('85)年書籍・雑誌の輸出通関統計推移表(価額)

(単位 百万円)

暦 年	書 籍			雑 誌			計		
	価額	前年比	指数	価額	前年比	指数	価額	前年比	指数
		%			%			%	
51('76)	7,605	132	132	2,128	125	125	9,733	131	131
52('77)	8,163	107	142	2,808	132	165	10,971	113	147
53('78)	9,031	111	157	2,916	104	172	11,947	109	160
54('79)	9,325	103	162	3,955	136	233	13,280	111	178
55('80)	13,889	149	242	4,915	124	289	18,804	142	193
56('81)	16,523	119	287	5,645	115	332	22,168	118	296
57('82)	18,671	113	325	5,900	105	347	24,571	111	330
58('83)	20,623	110	359	5,358	91	315	25,981	106	349
59('84)	26,524	129	461	5,841	109	344	32,365	125	435
60('85)	33,357	126	580	5,973	102	352	39,330	122	528

〔注〕指数は昭和50（'75）を100として算出した。

〔分析〕

昨年のこの通関統計で、遂に書籍・雑誌合計の輸出額が輸入額を上廻った、即ち、逆転が起きたことを述べたが、その傾向は更に進んでいる。その経過は次の通り。

（表21）書籍・雑誌計の輸入対輸出の比率推移表

昭和50('75)年	78：22
59('84)	49：51
60('85)	45：55

輸出の通関統計表を見て気付くことは、輸出先が実に細かく多岐にわたっていることである。国数は次の通り。

（表22）昭和60（'85）年書籍・雑誌輸出先国数

書 籍	135カ国
雑 誌	83
計	168

〔注〕（表17）の輸入先国数参照

以上

来 日 外 人 名 簿

1月中旬 Mrs. Ann Wearin, Director of International Sales,
Simon & Schuster, New York

" Mr. Hornstein, President,
AMS Press, New York

1月下旬 Mr. Pieter J. Gispén, Sales Manager,
E. J. Brill, Leiden

" Mr. Colin Lill, Sales Director,
Kluwer Academic Publishers Group,
Dortrecht

" Mr. M. N. Lechelt, Sales Manager,
Georg Thieme Verlag, Stuttgart

" Mr. T. Karger, Managing Director,
S. Karger AG, Basel

2月上旬 Mr. Ian Corsie, Sales Manager,
Associated Book Publishers, London

" Mr. W. Gurvitch, President of H. B. J.
International,
Harcourt Brace Jovanovich, Orlando

" Prof. L. Smith, East West Centre,
Honolulu

2月中旬 Major General A. J. Trythall CB,
Managing Director,
Brassey's Defence Publishers Ltd.
(A Member of the Pergamon Group)

お し ら せ

下記の通り移転通知がありましたのでお知らせします。

ブリティッシュ・カウンシル

新住所：〒162 東京都新宿区神楽坂1-2

☎(03)235-8031

ブリティッシュ・カウンシル・ケンブリッジ・イングリッシュ・スクールも上記住所に開校されます。電話番号は(03)235-8011です。

計 報

株式会社栗田書店 代表取締役 栗田金策氏は、
3月5日に逝去され、3月7日、尼崎市元浜町4-
19のご自宅にて葬儀がおこなわれました。行年84歳。
茲に謹んで哀悼の意を表します。

**GORDON AND BREACH SCIENCE PUBLISHERS
HARWOOD ACADEMIC PUBLISHERS**

New York • London • Paris • Montreux • Tokyo

医学専門誌

創刊ご案内



INTERNATIONAL REVIEWS IN IMMUNOLOGY

**Editors: Heinz Kohler, State University of New
York and Constantin Bona, Mount Sinai School
of Medicine, USA**

免疫学研究に関する最新情報を提供する国際評論誌。各分野における第一人者による評論を掲載。免疫学者、分子生物学者、微生物学者及び自己免疫疾患を扱う内科医を対象とする。

A Gordon & Breach journal

4 issues per Volume; ISSN 0883-0185

創刊 1986年1月 予約受付中: Volume 1 ¥54,000



HEMATOLOGY REVIEWS AND COMMUNICATIONS

**Editor: Stuart Roath, University Haematology, UK
Co-Editor: Milton Corn, Georgetown University
Hospital, USA**

創刊号 急性リンパ性白血病、慢性髄様白血病、及び寛解期の急性骨髓芽球白血病における骨髓移植に関する論文と薬剤治療に関する論文を扱う。

A Harwood Academic journal

4 issues per Volume; ISSN 0882-8083

創刊 1986年春 予約受付中: Volume 1 ¥46,000

▶上記2誌の創刊号を見本誌として無料でお送りいたします。お申し込みは下記へ。

●**洋販(日本洋書販売配給株式会社)** 〒160 東京都新宿区大久保3-4-11 TEL(03)208-0181

昭和61年3月 通巻第227号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫
〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル603号室 ☎271-6901
〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第1山中ビル ☎371-5329